

ジェトロ 地域・分析レポート

韓国の水素政策を振り返る (1) 韓国政府、水素産業育成に取り組む

表4：第1次水素経済履行基本計画の主要数値目標

項目		2020年（実績）	2030年（目標）	2050年（目標）
生産	クリーン水素の割合（％）			
	国内	0	75	100
	国内+海外	0	34	60
	水素供給量（万トン）	22	390	2,790
	国内	グレー22	（グレー94、ブルー75、グリーン25）	（ブルー200、グリーン300）
海外	0	196	2,290	
流通	水素ステーション（基）	70	660	2,000以上
利用	燃料電池自動車生産（万台）	1～	88	526
	水素需要量（万トン）	22	390	2,790
	発電	22	353	1,350
	輸送	0.2	37	220
	産業	－	－	1,060
その他	－	0.05	160	

注1：「グレー水素」は製造時に大気中に二酸化炭素を排出する水素。「ブルー水素」は製造時に排出した二酸化炭素を回収・貯蔵し、二酸化炭素の排出量を実質ゼロにした水素。「グリーン水素」は再生可能エネルギーで水を電気分解するなど製造時に二酸化炭素を排出しない水素。「クリーン水素」は「ブルー水素」と「グリーン水素」の合計。

注2：「－」は原資料に記載なし。

出所：産業通商資源部「第1次水素経済履行基本計画」（2021年11月26日）より作成